

平成29年度
文部科学省
基礎研究医
養成活性化
プログラム
採択事業

実践力と研究力を備えた

法医学者 育成事業

令和3年度
活動報告書

 公立大学法人 **横浜市立大学**

大学院医学研究科法医学



学長挨拶



横浜市立大学学長

相原 道子

法医学には法医解剖だけでなく小児虐待の被害者に対する生体鑑定など、多岐にわたる社会ニーズがあるにも関わらず、本邦の法医学者の数は絶対的に不足した状態が続いています。横浜市立大学では、社会の要請に応えられる法医学者を養成することを急務と考え、その育成に取り組んでいます。平成29年度には文部科学省の基礎研究医養成活性化プログラムに申請した「実践力と研究力を備えた法医学者育成事業」が採択されました。本プログラムでは、琉球大学、北里大学、龍谷大学、長崎大学と連携・協力することによって、実力をもった若い法医学者を育成することを目的としています。

また、本学では、令和元年度に臨床法医学センターを設置しました。当センターでは、全ての解剖あるいは検案の症例に対して死後CT撮影による検査を実施し、死因究明の精度向上に取り組んでいます。さらに、虐待が疑われる小児の生体鑑定にも積極的にかかわることで、社会貢献と同時に、人材育成における実践的な指導が可能となっています。行政と緊密に連携しながら、多種多様な社会的要請に対応し、人材育成にも取り組んでいます。

今後も本学の法医学者のための育成事業は、社会ニーズに合った実践力を備えた法医学者を輩出するモデルになるものと信じております。

事業責任者 挨拶

2017年に始動した本プログラムも早いもので5年が経ち、その間に死因究明推進基本法の施行や虐待防止法や児童福祉法の改正が行われ、法医学に求められる社会的責務は益々重要になっています。

法医解剖や生体鑑定などの法医実務には、その時代の世相が色濃く反映されます。例えば本邦の超高齢化社会を反映するように、老々介護の末の心中事件やいわゆる「8050問題」に関連した事案も徐々に増えています。法医学が取り扱う多くの事案では被害者・被疑者がともに社会的弱者であることが多く、社会福祉の枠組みから零れ落ちてしまったことが要因ともいえます。法医学は実務を通して社会的弱者に関わることが多く、彼らの抱える課題や現状に光を当てるといった役割も担っています。

また、国策として推進されている死因究明は、犯罪捜査のみならず公衆衛生や公共福祉にも大きな役割を果たします。例を挙げれば、パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して、例えばドイツでは積極的に解剖を実施することでCOVID-19の病態把握や治療、感染予防に繋げる施策が進められています。将来的には様々なアプローチで法医学が社会に還元できることがあると考えます。

このように法医学の社会的ニーズや役割を考えると、本邦の法医学者不足は深刻です。本プログラムでは多くの関連機関と連携しながら実践力のある法医学者の育成を目指しました。連携大学の先生方はもちろん、警察や検察、児童相談所や医療機関の皆様の協力がなければなし得ないことばかりであり、ここに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。本プログラムを通してひとりでも多くの法医学者が生まれ、法医学が社会に役立つことを祈っています。

大学院医学研究科 法医学教授 井濱 容子

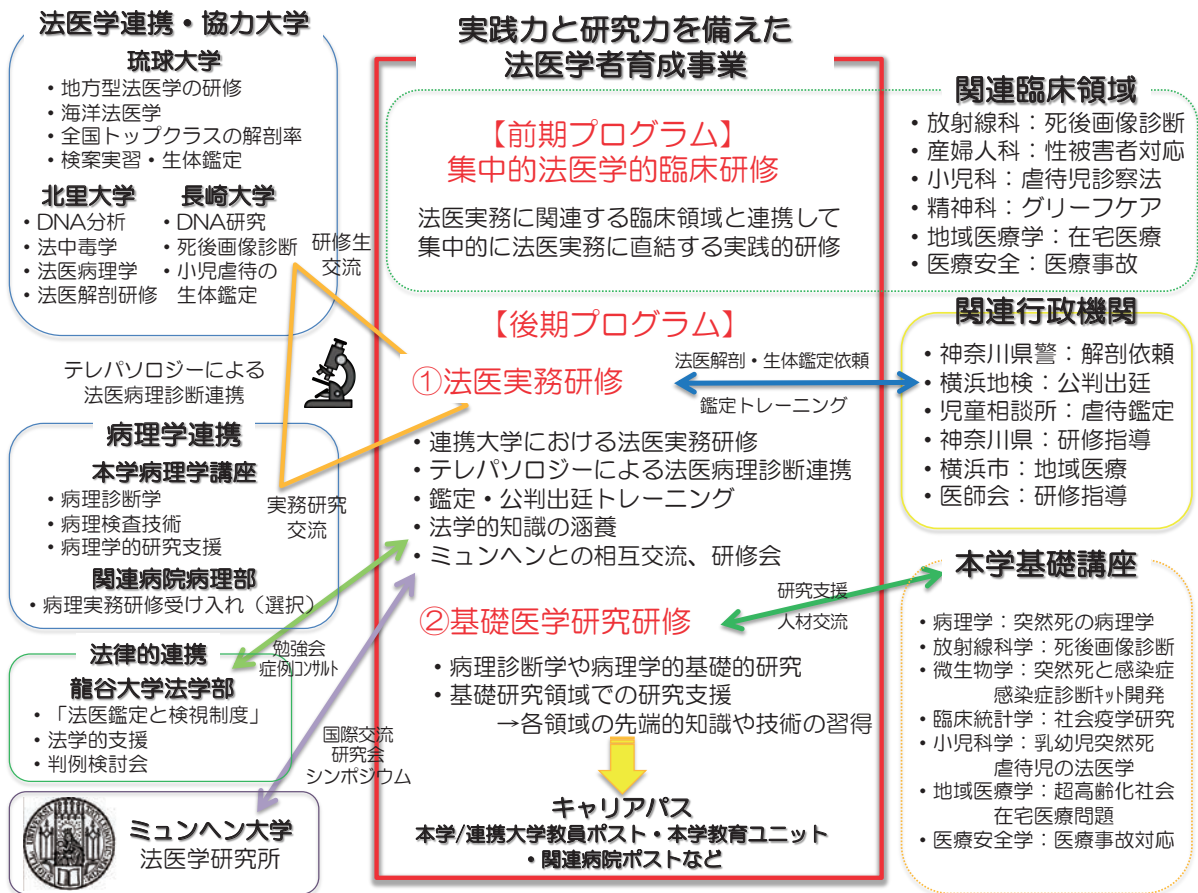
基礎研究医 養成活性化 プログラム 概要

法医学者には、解剖や生体鑑定などを行う法医実務的な能力と、基礎研究医として法医学的な課題を探究する研究者としての能力が求められます。さらに、法医学が対象とする領域は幅広く、医学的知識はもちろん医療安全や法律的な知識、社会福祉への見識も必要となります。現在、これらの能力を持った即戦力となる法医学者を育成することが期待されています。

本プログラムでは、まず関連臨床領域において法医実務に関連する臨床的知識や技術を集中的に習得します。続いて、それぞれ特色のある連携大学での法医実務を通して多くの法医学者に接して自身の将来像を描くことを目標としています。併せて、法医学者に必要な病理学的知識を習得するために本学病理学講座と連携し、遠隔病理診断システムの導入を推進します。また、警察や児童相談所と連携し、小児虐待事例などについて実践的なトレーニングを行うとともに、龍谷大学法学部やドイツ・ミュンヘン大学法医学研究所との相互交流を通して、グローバルで学際的な視点をもった法医学者養成を目指しています。

研究面では、例えば乳幼児突然死や感染症に関する研究、死後画像診断や法医実務からみた社会疫学的研究など、受講生の興味にあったテーマを推進するために、学内基礎・臨床講座と連携して最先端の研究技術を習得することとしています。

本プログラムによって法医実務能力と基礎研究能力をもったバランスの良い法医学者の養成を目指しています。



■10月 第105次 日本法医学会学術集会総会(福岡)

新型コロナウイルス感染症の影響で、当初6月に開催予定であった学会が9月に延期されました。さらに、延期された日程が緊急事態宣言の対象時期となってしまったため、現地での開催は自粛され、インターネット上で動画やポスターを掲示する形の開催となりました。

受講生にとっては、学会に参加して多くの法医学者から直接指導を受ける機会が減り残念な結果となりましたが、一方で登録したポスター発表をインターネット上に掲載されました。

◎受講生の声

今回は死後CTと解剖所見を比較した症例報告を行いました。緊急事態宣言下であったので仕方がありませんが、現地で発表できず残念に思います。次の機会には、現地で発表して多くの先生方の意見を拝聴できることを期待しています。



■12月 第3回 日本法医病理学会(長崎)

当初、9月に予定されていた学会でしたが、新型コロナウイルス感染症が落ち着いている時期に対面学会として開催されました。我々にとっても久しぶりの対面での学会であり、いつも以上に熱心に、活発な議論が行われました。

今回は「法医鑑定を再考する」をテーマとし、シンポジウム形式で以下の演題で発表があり、それぞれに深い議論がなされました。

- ・「法医鑑定の基礎」 科学警察研究所 福永龍繁先生
- ・「法医解剖時の写真撮影法の紹介」 横浜市立大学 井濱容子教授
- ・「剖検にて脳を固定する意義」 杏林大学 北村 修先生
- ・「損傷の視方から鑑定まで」 福岡大学 久保真一先生
- ・「薬毒物鑑定の重要性について」 旭川医科大学 清水恵子先生
- ・「法医学鑑定の実際と研究」 九州大学 池田典昭先生
- ・「鑑定結果の説明」 香川大学 木下博之先生

本学会では、法医鑑定における歴史から現代の課題まで、多岐にわたる問題提起がなされ、若手の法学者にとっては初めて聞く話も多く、興味深い内容でした。受講生も活発に質問し、法医鑑定に関する理解を深めることができました。

コロナ禍で学会が遠隔実施されるようになりましたが、やはり対面には対面の良さがあることを改めて実感した機会となりました。



■5月 第1回、第2回 「死因論を考える(1)(2)」

兵庫医科大学 法医学教室 准教授 山本琢磨先生

兵庫医科大学の山本准教授より、2回にわたって法医実務における死因の考え方についてご講義いただきました。乳児死亡や浴槽内死亡、頸部圧迫などの症例について、解剖所見をどう解釈して、死因を判断するかを考える、実践的なトレーニングとなりました。死因論から死体検案書の書き方まで、幅広いテーマについて活発な議論が行われました。

■6月 第3回 「新型コロナウイルス感染症関連死について～ワクチン後死亡をどう考えるか～」

兵庫医科大学 法医学教室 准教授 山本琢磨先生

昨今では、法医実務で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が疑われるご遺体を取り扱う機会が増えています。それに伴い、今回の講義ではCOVID-19症例の死因判断と感染対策などについて分かりやすく解説いただきました。また、新型コロナウイルスに対するワクチン接種後に死亡する症例も散見され、個々の死因判断だけでなく、社会への情報発信についての議論もありました。また、各種届け出に関する基準についても情報交換することができました。

■7月 第4回 「心筋炎の基礎知識」

医療法人社団 誠馨会 誠馨会病理センター 松戸ラボ 三戸聖也先生

法医学者としての経験を持ち、現在は臨床病理医として活躍されている三戸先生から心筋炎の病理診断についての講義をしていただきました。多くの症例を提示しながら、心筋炎の分類や組織所見の見かた、病態について分かりやすく解説していただきました。各種特殊染色を使い分けることによって、心筋炎の病期が推定できることについても言及がありました。受講生からは、実際の心筋炎症例に関する診断や病期についての質問がありました。

■8月 第5回 「法医学者に必要な法歯学の基礎知識」

さおりデンタルクリニック 医院長 下地さおり先生

法歯学を専門とされていた下地先生に、法医歯学についての基本的な事項について講義していただきました。医学部では法歯学について学ぶ機会が少なく、若手法医学者には大変勉強になりました。それぞれの歯牙の特徴や乳歯と永久歯の違いなどに関する基礎歯科学から、実践的なデンタル所見の取り方までお話いただきました。東日本大震災での経験についてもお話があり、法歯学の重要性について理解を深める機会となりました。

■9月 第6回 「病理解剖症例から考える」

医療法人社団 誠馨会 誠馨会病理センター 松戸ラボ 三戸聖也先生

末期胃がんの在宅療養中に肺炎を発症した症例を提示して、癌の病理学的解説から肺炎の病理組織の見かたまで分かりやすく説明していただきました。癌に対する診断手法は、法医解剖ではその癌が死因になるかが重要であるのに対し、病理解剖では多臓器に多くの染色を行って詳細な組織型や病期について検討するなど大きく異なります。若手法医学者にとっては、他の分野を知る良い機会となりました。

■10月 第7回 「研究倫理についての基礎知識」

関西医科大学 法医学講座 助教 榎本祐子先生

倫理委員会事務局として仕事をされた経験を持つ榎本先生に、研究倫理について解説していただきました。研究倫理はとっつきにくい領域ですが、指針の基本事項を分かりやすく説明していただき、具体的なQ&Aもあって理解が深まりました。研究によって申請の可否の判断は難しい場合もありますが、申請することで研究者が守られる面もあることを理解しました。

■11月 第8回 「保険金支払いの実際と法医学者の関わり方」

梅田総合法律事務所 アソシエイト弁護士 浅川敬太先生

医師免許を持ちながら弁護士として活躍されている浅川先生に、保険会社からの照会に関する基礎知識や注意事項について分かりやすくご講義いただきました。法医解剖や検案を行うと、後日、保険会社からの質問状が届くことがあります。保険会社の質問が意図するところや利用目的などについて分かりやすく解説いただき、保険会社からの照会に回答する際の参考になる知識を多数ご教示いただく貴重な機会となりました。

■12月 第9回 「若手法医学者の不安と悩み」

旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野 磯崎翔太郎先生

現在は大学院博士課程の最終年度にあたる磯崎先生から、研究面での苦労や経験について率直な話を聞かせていただきました。学生時代に法医学者になることを決意され、多くの苦難に直面しながらも、法医学者としての未来に向けて努力されており、その姿勢は我々も見習うべきと感じました。大学院生であるにもかかわらず自らの研究をプランニングして、成果をあげ、研究費を取得されていることは素晴らしいと思います。磯崎先生の益々の活躍を祈念するとともに、背筋が伸びる思いで拝聴しました。

■3月 第10回及び第11回 勉強会を開催予定

■R3年度に本プログラムにてご参加いただいた講師からのコメント

■兵庫医科大学 法医学教室 准教授 山本琢磨先生

貴学の「実践力と研究力を備えた法医学者育成事業」に参加しました。

複数の施設の教員が講義を行うことでそれぞれの専門分野のトピックを学ぶことができるだけでなく、大学院生を中心とした参加者側の受講生が積極的に発言・議論する能動的な取り組みとしても行われていました。単一施設内の人員が少ない法医学の現状、施設を越えて交流できるこの取り組みは、これからの法医学に進む若手世代だけでなく、この先の法医学を担わなければならない中堅世代にとっても学びが多いものと感じました。

■医療法人社団誠馨会 誠馨会病理センター 松戸ラボ 三戸聖也先生

現在は病理医をしているよそ者ですが、しばらく法医学に携わっていた時期があったため、若手法医学者の役に立つような事を勉強会という形で講演するようにと、井濱教授から依頼を受けました。勉強会が始まってみると、主役の若手法医学者の皆さん以外にも色々な分野の方々が参加しており、普段なかなか聞くことがないお話なども聞くことができ、大変勉強になりました。誰が言ったか忘れましたが、変化をもたらすものは若者か、馬鹿者か、よそ者なのだそうです。どの者も、既存の型に囚われないからというこららしいです。法医学者は人数が少ないため、ややもすると見聞が狭くなります。馬鹿者はともかくとして、若者とよそ者たちが交流するこのような企画に参加させてもらったことは大変貴重な経験でした。

■さおりデンタルクリニック 医院長 下地さおり先生

私は歯科医師ですが、法歯学に興味があり、琉球大学の法医学教室で博士号を取得しました。琉球大学では多くの法医学解剖の症例を経験し、法医学的研究にも携わりました。現在は開業歯科医として働いているので、法医学とは少し離れた環境にいますが、今回の勉強会で法歯学の講義をさせて頂いて法医学を懐かしく思い出しました。医学部では、歯科学に関して系統立てた教育を受ける機会がないため、法医実務の現場で「歯牙所見を取れ」といわれても若い法医学者にとってはハードルが高いと思います。今回の勉強会を通して基本的な歯牙所見に関する知識を習得して、自信をもって歯牙所見を取っていただけたらとても嬉しく思います。若い先生方の活躍を心より祈念しております。

■旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野 磯崎翔太郎先生

今回webミーティングで「若手法医学者の不安と悩み」というタイトルで学部学生、研修医そして大学院生と立場が変わっていく中で悩んだことや不安に感じたことについて発表させていただきました。このwebミーティングでは同世代の若手の先生方が数多く参加されており、忌憚のない意見交換をお互いすることができたことは非常に良かったと感じております。今後も1人の参加者として引き続き勉強させていただければと思っております。



■事業責任者：井濱容子より ～災い転じて?!～

新型コロナウイルス感染症の影響で、本事業でもこれまで行っていた対面での会議やシンポジウムを開催することが困難な状況になりました。一方、遠隔講義や遠隔会議が日常となり、我々もzoomを使用して勉強会を開催することにしました。遠隔の勉強会では、セキュリティの観点から解剖写真を提示しにくい面はありますが、参加者が現地に移動する手間や時間を省くことができ、参加へのハードルが下がることはメリットであると感じました。若手の交流の場としては対面開催が理想だと考えていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をみつつ臨機応変に対応したいと考えています。いずれにしても、今後も若手法医学者が率直に意見交換できる場として、この勉強会は継続していきたいと考えています。

■本プログラム連携機関からのコメント

■琉球大学 医学部法医学 教授 二宮賢司先生

琉球大学法医学講座は、本プログラムにおいて横浜市立大学からの研修の受け入れ、シンポジウムやレクチャーへの参加などで関わらせていただきました。これらの事を通して他大学の先生方との交流、情報交換などの恩恵にあずかせていただき、ひいては本学の法医関連の後継者育成にとっても良い影響があったと感じております。新型コロナウイルス感染症への対策で大きな制限がある中、それでも様々な企画を実行した、井濱教授をはじめ横浜市立大学法医学教室の皆様、その他関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

既に成果もあり、今年度で終了となる本プログラムですが、後継者育成というその趣旨を考えれば、類似の取り組みは継続されねばなりません。この数年間実施されてきたことは、そのモデルの一つとなるものと思います。このような取り組みを通して法医関連の人材が増加するとともに、その状態が維持される、好循環が始まることを願っております。

■長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 社会医療科学講座 法医学分野 教授 池松和哉先生

当教室と横浜市立大学医学部法医学教室は、日頃から解剖実務や研究指導について協力体制を維持しています。長崎と横浜とでは扱う症例も異なり、大学によって解剖のやり方や検査体制などにも微妙な違いがあります。若手の法医学者には、地域や大学による違いを知っておくことも大切だと思います。また、本事業では医学部学生をお互いの法医学教室に派遣して、実務や研究を体験する機会を作ることも出来ました。学生にとっては他校の学生のレベルを実感し、とても良い刺激になったと感じました。若いうちに多くの指導者の考えや姿勢に触れることは、法医学を志すうえで貴重な経験になると考えます。

■北里大学 医学部 法医学 教授 佐藤文子先生

県内にある連携大学として、受講生の受け入れやシンポジウム参加などを通して本事業を支援しました。私は病理専門医であることから、法医解剖における病理学的診断を得意としています。大学講座の枠を超えて得意分野である病理学的診断の指導ができるのは効率的だと思いました。急増する法医実務に少ない法医学者で対応せざるを得ない現状では、若手教育のために注げる時間もエネルギーも限界があると感じています。複数の法医学教室が連携することで効率的な教育体制が構築できれば、法医学者育成に繋がります。またテレパソロジーを使った取り組みには将来性があり、今後の発展が楽しみです。

■龍谷大学 研究フェロー・名誉教授 福島至先生

法医学者と法律家は、互いにそれぞれの役割や守備範囲を確認しつつ、相互理解を深めておく必要があります。その基盤があってこそ、双方による共同作業が社会的に実を結ぶのだと思います。本育成事業に法律学サイドから関与させていただいたことは、その意味で大変有意義に感じました。中でも、2019年12月に行われた第3回ワークショップでは、多数の法医学者と法律家が一堂に集まって率直な意見交換を行うことができ、画期的だったと思います。今後も相互理解を進める視点を有しながら、さまざまな事業を展開されますよう、心から期待いたします。



過去の法医学者育成のためのワークショップ

第1回
2017

「未来に羽ばたく法医学者を育てるために」

国内外の法医学者育成の取り組みを紹介してもらうため、国際ワークショップを開催しました。まずドイツ・ミュンヘン大学(LMU)のLisa Eberle先生からミュンヘン大学法医学研究所の法医学者育成について解説いただきました。次に長崎大学の池松和哉先生から「死因究明高度専門職業人養成事業」について説明いただき、本邦の法医学者育成のヒントとなりました。次いで琉球大学の二宮賢司先生、長崎大学の芝池由規先生から、それぞれの立場から法医学者育成についての考えをご紹介いただきました。法医学者だけでなく、警察官、検察官、児童相談所職員などにもご参加いただきました。

第2回
2018

「連携が開くトビラ～法医学とその関連領域～」

「物理的外力と損傷」をテーマに、各領域の第一人者から講義していただきました。LMU法医学研究所のMatthias Graw主任教授にはドイツにおける交通事故症例の受傷機転の解析方法をご紹介いただきました。高度なコンピューターシミュレーションを用いた受傷解析には、驚くとともにドイツの損傷学のレベルの高さを痛感しました。さらに同研究所のLisa Eberle講師、長崎県警察科学捜査研究所の平川俊介上級研究員、防衛医科大学の原田一樹准教授より講演いただきました。法医学で取り扱う機会の多い外傷の受傷機序を考察するために、多くの知識を享受するとともに、最新技術の応用についての可能性を知る機会となりました。

第3回
2019

「法医鑑定に求められる法学に関するワークショップ ～刑事裁判における法医鑑定の役割～」

法医学者に必要な法学的な知識習得を目的として、刑事裁判に詳しい、龍谷大学法学部の福島至教授に「法医学者のための法学的基礎知識」、千葉大学客員准教授・弁護士の武市尚子先生から「鑑定書、解剖レポートの記載・表現と法的評価について」と題して講義いただきました。また、刑事弁護人の第一人者である神山啓史弁護士には「刑事裁判における法医鑑定の意義」についてご講演をいただきました。法医学者に対する期待の大きさを改めて認識するとともに、責任の大きさを痛感しました。公正中立な法医鑑定のためにも、相互理解の重要性を認識する貴重な機会となりました。

第4回
2020

「COVID-19感染拡大と法医実務～現在から未来に備えるために～」

COVID-19のパンデミックの渦中にあっても法医実務を止めるわけにはいきません。COVID-19のリスクに不安を抱えながら法医実務に取り組んでいる各大学や機関の取り組みを知ることで、対策や課題を共有できることを目的としました。東京大学の榎野陽介准教授、長崎大学の池松和哉教授、LMU法医学研究所のLisa Eberle先生からコロナ禍における法医実務の現状をご紹介いただき、本学放射線診断医の山城恒雄准教授からは最前線のCOVID-19の画像診断についてご教示いただきました。各施設の取り組みを知ることによって、しばらく続くであろうコロナ禍を乗り切るための知恵とスキルを身に着ける機会になりました。また、感染状況に鑑みZoom開催としましたが、参加しやすさのためか97名もの参加を頂きました。多くの反響もあり、有意義なシンポジウムとなりました。

法医学者育成のためのワークショップ
**未来に羽ばたく
法医学者
を育てるために**

日時 2018年2月13日(火)
14:00～17:00

プログラム
第一部：国内外の法医学者育成について
「ドイツ・ミュンヘンにおける法医学者育成の現状」
Lisa Eberle (ミュンヘン大学 法医学研究所 講師)
「法医学者育成のための長崎大学法医学教室の取り組み」
池松 和哉 (長崎大学 法医学 教授)
「琉球大学における法医学者育成について」
二宮 賢司 (琉球大学 法医学 助教授)
「Fukuoka University, Evidence-based Forensic Medicine」
芝池 由規 (長崎大学 法医学 大学院)

第二部：パネルディスカッション
「東京に羽ばたく法医学者を育てるために」
～福井県立大学法医学部と連携して～
白井 洋介 (福井県立大学 法医学 講師)
原田 一樹 (長崎県立大学 法医学 大学院)

場所
福井県立大学
附属病院10階
国際会議室

申込・問合せ先
福井県立大学
国際交流センター 国際
法医学部 法医学
福井県中津区福井3-9
045-252-7968
www.fukui-u.ac.jp

The 2nd International Workshop
**OPENING DOORS
Forensic Medicine and Related Fields**

Outline
Invited experts will give a lecture with a theme "physical impacts" from their own specialty. We believe this will be a great opportunity to re-acknowledge the importance of multi-field experts' collaboration in medico-legal judgement where a wide range of knowledge is required.

Invited Speakers
Institute of Forensic Medicine Munich
Ludwig Maximilian University of Munich
Director: Prof. Dr. med. Matthias Graw
(Education in Forensic Medicine, Particulars Reporting Traffic Medicine)

Dec. 11, 2018
14:00～17:00

Venue: YCU Ringo-Educ. International Center

第一部
14:00～18:45 International Workshop
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 2
18:45～19:55 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 1
14:00～18:55 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 2
18:45～19:55 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 3
19:55～21:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 4
21:00～22:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 5
22:00～23:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 6
23:00～24:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 7
24:00～25:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 8
25:00～26:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 9
26:00～27:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 10
27:00～28:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 11
28:00～29:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 12
29:00～30:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 13
30:00～31:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 14
31:00～32:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 15
32:00～33:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 16
33:00～34:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 17
34:00～35:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 18
35:00～36:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 19
36:00～37:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 20
37:00～38:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 21
38:00～39:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 22
39:00～40:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 23
40:00～41:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 24
41:00～42:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 25
42:00～43:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 26
43:00～44:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 27
44:00～45:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 28
45:00～46:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 29
46:00～47:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 30
47:00～48:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 31
48:00～49:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 32
49:00～50:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 33
50:00～51:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 34
51:00～52:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 35
52:00～53:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 36
53:00～54:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 37
54:00～55:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 38
55:00～56:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 39
56:00～57:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 40
57:00～58:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 41
58:00～59:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 42
59:00～60:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 43
60:00～61:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 44
61:00～62:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 45
62:00～63:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 46
63:00～64:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 47
64:00～65:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 48
65:00～66:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 49
66:00～67:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 50
67:00～68:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 51
68:00～69:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 52
69:00～70:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 53
70:00～71:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 54
71:00～72:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 55
72:00～73:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 56
73:00～74:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 57
74:00～75:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 58
75:00～76:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 59
76:00～77:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 60
77:00～78:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 61
78:00～79:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 62
79:00～80:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 63
80:00～81:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 64
81:00～82:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 65
82:00～83:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 66
83:00～84:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 67
84:00～85:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 68
85:00～86:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 69
86:00～87:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 70
87:00～88:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 71
88:00～89:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 72
89:00～90:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 73
90:00～91:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 74
91:00～92:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 75
92:00～93:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 76
93:00～94:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 77
94:00～95:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 78
95:00～96:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 79
96:00～97:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 80
97:00～98:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 81
98:00～99:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

Second 82
99:00～100:00 Trains Student Report
Chair: Yoko Sato, M.D., Ph.D.
Prof., Department of Legal Medicine, Nagasaki University School of Medicine

2019
Workshop
**法医鑑定に求められる
法学に関するワークショップ
～刑事裁判における法医鑑定の役割～**

今年度のワークショップでは、法医学者が理解すべき法学的基礎知識や刑事裁判における法医鑑定の役割について、弁護士・法曹の視点からご講演いただきます。特に、検察官と弁護士の両面からの第一人者から、鑑定と法的評価の両面から責任の所在が示唆されます。是非、多岐のご参加をお待ちします。

日時 12月14日(土)
14:00～17:00

場所 横浜国立大学附属病院10F臨床講堂

事前登録

第1部 14:00～18:15
モーター車・盗難被害(長崎大学法医学部 野野原 隆)
法医学者のための法学的基礎知識
講師 福島 至 (長崎大学法医学部 教授・弁護士)
鑑定書、解剖レポートの記載・表現と法的評価について
講師 武市 尚子 (千葉大学客員准教授・弁護士)

第2部 18:15～17:00
刑事裁判における法医鑑定の意義
講師 神山 啓史 (長崎大学法医学部 教授・弁護士)
刑事裁判における法医鑑定の意義
報告者 田邊健治(横浜国立大学法医学部1年)

会場 横浜国立大学法医学教室 9-236-0027 横浜社会科学院ビル3-9
https://www.usml.yokohama-cu.ac.jp/kyougou/

お問い合わせ先 国際交流センター 国際法医学部 法医学
〒220-8501 横浜市中区福井3-9-1
TEL: 045-252-7968 FAX: 045-252-7968

文科省 基礎研究医養成活性化プログラム
The 4th Workshop - Webinar

**COVID-19感染拡大と法医実務
～現在から未来に備えるために～**

2020年2月21日(月) 17:00～19:00

第1部
17:00 COVID-19感染が疑われた法医学的対応の取組
～感染拡大、検体検送、法的手続きなど～
長崎大学法医学部 池松 和哉
17:20 東京大学法医学教室における
新型コロナウイルス感染症対策
東京大学法医学部 榎野 陽介
17:40 ドイツ・欧州におけるCOVID-19感染状況及び
法医学者への対応について
ミュンヘン大学法医学部 Lisa Eberle
18:10 CT検査車を用いたCOVID-19肺炎の
スクリーニング検査について
横浜市立大学放射線診断学教室 山城 恒雄

18:30～18:45 休憩

第2部
18:45 受講生報告
YCU法医学部 野野原 隆 報告者 野野原 隆 報告者 野野原 隆

Zoom参加申し込み
ご案内メールのURLまたはQRコードから
Zoomアプリをダウンロードし、事前に参加申し込みを行い、
当日の参加申し込みURLにアクセスして参加してください。

問い合わせ先 YCU法医学部 TEL: 045-252-7968
Mail: youg_kobayashi@yokohama-cu.ac.jp 報告者 野野原 隆(1F)・榎野 陽介(2F)

トロント留学について

本学法医学教室 白元洋介 講師

今回のプログラムの一環として、2018年にカナダ オンタリオ州トロントにあるProvincial Forensic Pathology Unitを訪問しましたが、その縁もあり、当該施設に1年間留学しました。

この施設は、オンタリオ州に6つあるForensic Pathology Unitのうち、最大の施設です。2020年の解剖数は4524体、検案数は1101体であり、年間5600体を越える遺体を扱っています。カナダの死因究明システムは州毎に異なっており、オンタリオ州はメディカルコローナー制（コローナーは医師である必要があります）で、解剖医（Forensic Pathologist）はコローナーと協力して死因の究明に取り組んでいます。カナダでは、ここ数年、オピオイド並びにフェンタニルによる中毒死が増加しており、加えて、COVID-19によるロックダウンなどの影響と考えられる大幅な増加がみられています。また、アメリカよりは厳しい銃規制があるものの、銃を所持することは可能であり、銃を使用した自殺や殺人もみられます。このように、日本とは死因究明のシステム、扱う事例が大きく異なっており、日本では経験できないシステム、多数の中毒ならびに銃創事例等を経験することができました。

また、施設にはCTとMRIが設置されており、縊死を除いて全例でCTは撮影され、必要な場合にMRI撮影が追加

されています。横浜市立大学では、基本的に犯罪性が疑われる事例の解剖が行われていますが、オンタリオ州のシステムでは、基本的に死因が不明な場合は解剖を行うため、病死の事例が多く含まれます。そのため、横浜市立大学ではあまり経験できない、病死の死後CT画像、解剖についても経験することができました。これらの経験は、今後の法医実務や研究活動において、非常に参考となるものでした。日本とは異なるシステムや事例を経験することで、日本の死因究明制度について改めて考え、理解を深める機会にもなると思います。

COVID-19の影響で、留学期間を半年延期し、留学中も、研修に関わるだけでなく、生活上の様々な制限もありましたが、その中でも色々な経験ができました。留学中に学生の受入ができなかったことは残念でしたが、ぜひ機会をみつけて訪問してほしいと思います。



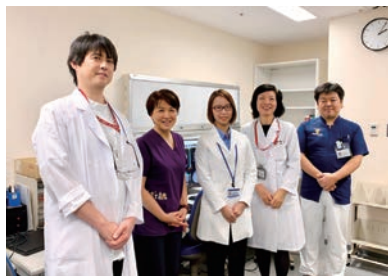
3年間の活動報告

大学院3年 田邊桃佳

私は平成31年4月から本学大学院医学研究科博士課程に在籍し、本プログラムの受講生として3年間法医学を専攻してきました。

大学院1年次および2年次は前期プログラムとして、大学院とともに、本学附属病院での初期臨床研修も並行して行いました。医師としての基礎的な知識や技術を身につけるのみならず、法医実務や研究テーマに関連した診療科で学ぶことができました。

私は被虐待児の生体鑑定に関心がありますが、1年次



には神奈川県立こども医療センター放射線科で研修し、虐待が疑われる小児の画像診断について直接ご指導いただくことができました。

また、1年次の終わりから新型コロナウイルス感染症が流行し、救急科の研修医として重症者の集中治療を3か月間経験しました。感染者の増加と患者さんの重症化を日々目の当たりにするのは大変つらいことでしたが、最新の研究結果が臨床現場に次々と還元されていくスピード感はとても刺激的でした。新型コロナウイルス感染症の臨床を経験できたことは、ウイルス感染症を研究する私にとって、研究のモチベーションを高めたとともに、法医解剖症例で新型コロナウイルス感染症を研究する動機にもなりました。2年次の終わりには、新型コロナウイルス陽性の法医解剖症例について、日本法医学病理学会の学会誌に症例報告を投稿しました。



大学院前半の2年間は初期臨床研修に専念していましたが、夏季休暇にはドイツ・ミュンヘン大学法医学研究所で1週間の研修を行いました。法医解剖や生体鑑定に立ち会ったほか、講義や裁判傍聴もあり、ドイツでは法医学が司法や行政と強く連携し、社会的に大きな役割を果たしていることを実感できました。



3年次から大学院に専念し、学位研究と法医実務に取り組んでいます。私は本学の医学生として法医解剖に立ち会っていた際、乳幼児の突然死の症例の中にはウイルス感染症によるものが少なくないだろうと考えていました。そこで、感染症が疑われた法医解剖症例でウイルスの体内分布を研究することにしました。写真のように、digital PCRを用いて様々な体液および臓器試料のウイルス量を測定しています。ウイルスの体内分布が死亡時のウイルス感染症の病態を検討したり、死因を診断したりするために有用な一つの手法になることを目指して研究しています。

本プログラムが今年度で終了することは大変残念でありませんが、この3年間、学内外で法医学を学ぶ数々の機会に恵まれましたこと大変感謝しております。文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」の関係者の皆様、研修先および横浜市立大学の関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

2年間のプログラムを経て

大学院2年 國中光

初期臨床研修を終え、2020年4月より大学院に進学しプログラムをスタートしました。

本学では様々な症例の解剖や検案、児童虐待症例の鑑定書作成などを経験することができます。また、附属病院の放射線診断科の先生方に死後CT画像の読影やカンファレンスをしていただけるようになり、実際に見えるものとCT画像とを見比べることでより研鑽を積むことができます。

2020年より流行する新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた連携施設での研修は叶いませんでした

が、オンラインでの勉強会やワークショップ等を諸先生方が積極的に開催してくださり参加しました。また、数少ないながら対面での学会にも参加することができました。

現在、死後CTに関する研究とラットのダイビングモデルの研究をしていますが、更に学術性を高めて今後学位論文としてまとめていきたいと思っています。このプログラムを通して、法医学として必要な知識や経験だけでなく、大学院での先輩や関わってくださった法医学だけでなく諸先生方との広い繋がりができたことに本当に感謝しています。



3か月間の実習を終えて

琉球大学医学部医学科3年 釜場さき

琉球大学大学院医学研究科法医学講座の二宮教授にご紹介いただき、2021年12月6日~2022年2月25日の約3か月間、横浜市立大学大学院医学研究科法医学講座で実習を行いました。

1つの成果として、リアルタイムPCRを用いて、減圧症で発現が変動する遺伝子の研究をまとめることができました。法医解剖における死後CT画像の活用についても学ぶことができました。

滞在期間には教室の皆さんに大変お世話になりました。法医学への興味を広げるきっかけを与えてくださり、また、多くの面でサポートしてくださりありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

今回の実習は法医学者の業務や研究者としての活動について経験的に学ぶだけでなく、大学院生、先生方の姿から自分の将来について具体的に考える貴重な機会にもなりました。今回感じたことや学んだことを将来に繋げることができるよう、残り3年間の学生生活を大切に、勉学に励んでまいります。

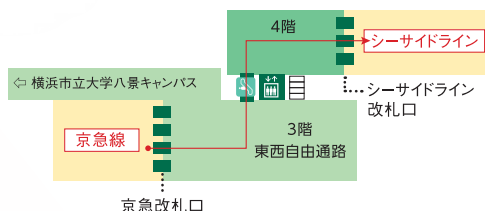


Access

🚉 羽田空港から

羽田空港～京急金沢八景駅(京急線)
金沢八景駅～市大医学部駅(シーサイドライン)
所要時間約70分

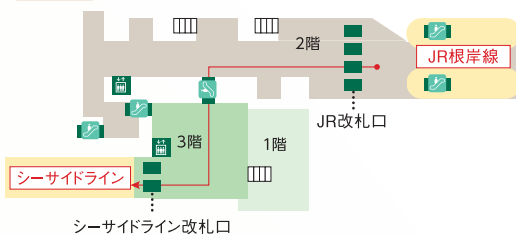
📍金沢八景駅 京急線からシーサイドラインへの乗り換え方法



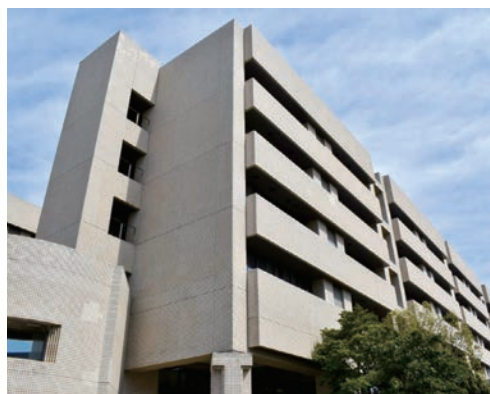
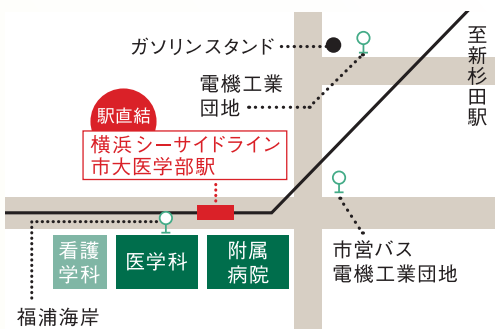
🚉 横浜駅から

JR横浜駅～JR新杉田駅(JR京浜東北・根岸線)
新杉田駅～市大医学部駅(シーサイドライン)
所要時間約45分

📍新杉田駅 JR根岸線からシーサイドラインへの乗り換え方法



🚶 市大医学部駅から



公立大学法人 横浜市立大学



「実践力と研究力を備えた法医学者育成事業」プログラム事務局(福浦キャンパス医学教育推進課内)

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 TEL: 045-352-7968

E-mail: ycugp_ka@yokohama-cu.ac.jp HP: <http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kisogp/>